

行政事業レビューの改善・強化について(ポイント)

各府省の自己点検の厳格化

(⇒「実施要領」の改訂等)

1. レビューシートの充実

- 定量的な成果目標の設定の徹底。成果目標と上位施策等との整合性確保。
- 自己点検欄や重複排除(関連事業)欄の記載充実。

2. 政策評価との連携

- 事業の点検における政策評価のデータ等の活用。

3. 基金シート等の改善

- 基金の定義・解釈の明確化。
- 基金を置く法人の適格性の点検を導入。

4. 各府省における公開事業点検(公開プロセス)の適正化

- 外部有識者の関与の強化等による対象事業選定の適正化。
- インターネット生中継の原則化による同時公開性の向上。

府省横断的な検証の強化

(⇒「秋のレビュー」の定例化等)

1. 「秋のレビュー」の定例化

- 「秋のレビュー」を定例化し、秋の年次公開検証として明確に位置付ける。

2. 対象事業

- 内閣の重要政策・施策を中心に、府省横断的な検証を昨年に引き続き実施。

3. 検索機能の充実

- 府省横断的な検証に資するよう、レビューシートの政策分野別表示の設定等、データベース機能を充実。

4. 公開・広報の強化

- 大学生・大学院生(ゼミ単位)の傍聴を募る。
- 論点を事前にわかりやすく提示する等、広報用資料の充実を検討。

継続的な検証の導入

(⇒「重要課題検証」の新設)

1. 趣旨

- 「秋のレビュー」等で取り上げた重要テーマ・事業について、政策効果の向上度合等を、複数年も視野に継続的に検証する。

2. 検証の視点

- 個々の事業から施策・政策(制度)にまで遡り、ゼロベースで事業の必要性・有効性等を検証。
- 指摘を反映した好事例の横展開。

3. 進め方

- 歳出改革ワーキンググループ委員は、必要に応じ、事業所管府省に資料提出や出席を求め、調査審議を行う。

4. 当面の対応

- 6月を目途に、対象テーマ・事業の選定作業を進める。ただし、特に早急に検証すべきテーマ・事業については、他に優先して審議を進める。